

## 映像、音声、文書、図形、数値等の記録、保管、流通と利活用(1990年～) ～デジタルアーカイブへの発展～

後藤忠彦、林知代、谷里佐 (岐阜女子大学)

### 1. 映像、音声、文書、図形、数値等のデジタルデータを保管するメタデータ

1990年代になり、映像、音声、文書、図形、数値等のデジタル化、保管、流通が可能になり、教材、素材のデジタル保管が進みだした。ただし、当時のコンピュータの記憶容量では、精度の高い映像を大量に記録保管することが困難であったため、写真(フィルム)撮影し、スキャナでデジタル化、保管、活用し、今後、記憶容量が多くなるのを期待しフィルムやMO(光磁気ディスク)で保存した。

2005年頃までは次のような処理を行ってきた。

- ①写真(35mm、6×7インチ、6×9インチ等のフィルム)で保存
- ②スキャナでデジタル化しMOで保管
- ③デジタル保管・活用(流通は、当時、通信回線の関係で高速で送れなかった)

このため、写真、MOで保存し、将来、高精度な処理・保管が可能になったとき、再度「フィルム等」をデジタル化し、保管・流通・活用することにした。



フィルム等で保管している資料  
(データ入力の精度が高くなったとき再入力)

メタデータは、1970年頃から開発が進められ、1980年代には、次のように構成していた。

- ①管理、流通を目的：[4W+管理用処理(権利等含む)] 主として客観的な記録項目で構成
- ②管理・流通・利活用を目的 [5W+管理用項目+利活用] 利活用等に主観的な情報含む項目で構成

①は、主として、管理・流通を主な目的とする機関(統合ポータル、ハブ、管理流通が主な機関)による文献データベース等で用いられてきた。しかし、利活用を主な目的とする小規模な機関(地域、教育委員会等)では、活用上の注意、特色など、少し主観的な情報が役立ち、必要となるため、ドキュメントとしての保管、流通に別ファイルなどのメタデータを追加し、有効な活用が考えられた。そこで、教育用として、次のようなメタデータの基本項目が1980年頃から設定された。

- ・管理番号 (ID)
- ・内容 (要約、索引語、分類等)
- ・場所
- ・年月 (時代)
- ・氏名
- ・権利情報 (著作権、プライバシー)
- ・[利活用] 特色、活用支援、利用注意

## 2. デジタルアーカイブの保管資料例

1992年頃から地域資料の教材化が始まり、1994年には小学校の社会科、理科の各学年のデジタルコンテンツが整備されだした。(後藤忠彦, 村瀬康一郎, 情報活用のための岐阜地域マルチメディア教材資料.CRDC データレポート 1995, no.247)

また、自由民権に関する資料は、1995年に岐阜大学研究生であった竹崎澄子先生(高知市)の努力でカラーコピー機を使い、高知市立自由民権記念館の許可を得て、次のような資料がデジタル化された。

### 自由民権記念館のデータベースの内容構成について

素材(自由民権記念館の資料、史跡)を4グループに分け、さらに、それぞれのグループを特色によって、いくつかのシリーズに分ける。(全18シリーズ)

〔民権案内〕——自由民権記念館や史跡の紹介

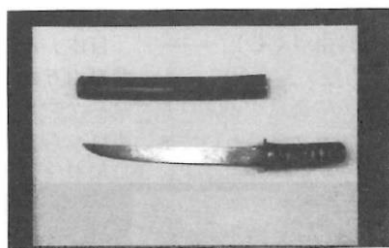
- ①自由民権記念館案内
- ②史跡めぐり

〔運動の歴史〕——前史後史を含む自由民権運動期の歴史を時代区分して7シリーズで構成する。それぞれのシリーズは、歴史年表とその歴史事象に関するデータ(古文書など)で構成する。

- ③運動の前史……ペリー浦賀に来航(1853年)～明治6年政変(1873年)
- ④運送の生成……愛国公党結成(1874年)～西南戦争(1877年)
- ⑤運動の高揚1……立志社建白提出(1877年)～明治14年政変(1881年)
- ⑥運動の高揚2……
- ⑦運動の衰退……自由党結成(1881年)～秩父事件(1884年)
- ⑧運動の再燃……海南自由党解党(1884年)～馬場辰猪、客死(1888年)
- ⑨運動の終末……大日本帝国憲法発布(1889年)～選挙干渉問責決議案可決(1892年)

(a) 古文書については、表紙から次のページへと順に見られるように構成した。

(注) 現在は、自由民権記念館でさらに整備されている。



①-13. 板垣退蔵(短刀)

### 運動の生成

- 内容 民選議員設立の建言が左院に提出されたことが自由民権運動の始まりである。立志社建白が提出されるまでが自由民権運動の「生成」の時代である。
- 索引語 明治時代、自由民権運動の始まり、立志社、自由民権思想、立志社建白
- 登録者 竹崎澄子
- 掲載者 学習システム研究会

素材データベースの目次へ

- 年表・運動の生成1
  - 内容 1874(明治7)年1月12日愛国公党結成～1875(明治8)4月立志社社長に片岡健吉。民選議院設立の建言が左院に提出されたことが「自由民権運動」の始まり。
  - 索引語 明治時代、自由民権運動の始まり、立志社、民選議院設立の建言、年表